

第 19 回アンケート結果（抜粋）

1. 一般講演 2 : 「次世代電力システム向け標準オントロジ構築及び応用」

1. ISO/IEC JTC1 SC32 WG2 Metadata の ISO/IEC 11179,14957,19763,19773,20943,20944,24706,24707 と IEC 61970,61968,62656 の関係は、どのように理解すれば良いでしょうか？

【回答】

まず、IEC61970/61968 は、電力システム向けに定義するモデルの内容であり、JTC1/SC32 WG2 Metadata 及び IEC62656 は、モデリングの方法論を提供します。

IEC62656 は、IEC TC3/SC3D の委員会が開発し、IEC CO (Central Office) が運営する、IEC CDD (Component Data Dictionary) のオンライン DB (<http://std.iec.ch/iec61360>) の入出力フォーマットともなっております。

発表者が IEC TC3/SC3D のエキスパートであり、本発表でご紹介した IEC62656-3 のプロジェクトリーダー兼エディターを務めております。本規格は、電力分野向けのオントロジ記述フォーマットを提供します。

ISO/IEC JTC1/SC32 が開発する諸規格について、知識不足で大変申し訳ございませんが、具体的な内容を読んでおりません。ただし、IEC TC3/SC3D 委員会と、ISO/IEC JTC1/SC32 委員会の関係について、前者は、全電気電子分野の分類体系を定義し、後者は、インフォメーションについて、Metadata 定義を提供するとの解釈があり、両者が一部の分野で相互参照しております。

より詳細な情報交換し、協力して活動を進めて行けたらと思います。

2. 最終的に実際のシステムへ応用する際に、ご紹介いただいた標準オントロジ構築法以外にも、ほかの知識（例：人的な考え）の伝承を支援できるとすばらしいと思います。

【回答】ありがとうございます。今後の課題として進めて行きたいと思います。

3. 人手（手動）で行う部分と、機械（自動）が行う部分が知りたいです。また、人手で行う部分は、どの程度の人員を割いていますか？

【回答】細かい内容のご説明はできませんが、基本は、データの入力は人手で行い、その他は、自動で行います。人手で行うデータ入力は、構築するターゲットシステムの規模によって、人員が異なります。本 Parcimoser(TM)を利用したシステム構築と、従来手法と比較すると、かなりの工数を減せすことを明確に検証できました。

4. 現場では設備リストと実際に設置されていた設備が異なっていたことが、昔はよくありました。スペックは同じものなので運用上の問題はないのですが、システムとしては問題ないでしょうか？

【回答】

ソフトウェアシステムで管理する内容と、実際に設置された設備と異なることは、本来、あっては行けない状況でございます。今後、システム設計・設備設置・管理・運用等、一連のプロセスは統合したシステムでの一元管理を実現できるようになり、ご質問のようなケースが減少できるかと思えます。

また、本発表で提案した、複数部門・システムが共有する標準オントロジの構築、システム構築が、上記問題解決にお役に立つがと思えます。

5. 国際規格に役立つシステムだと思いました。